

仙台市内に所有する施設で使用する電力を 2022年度中に再生可能エネルギー由来に

三菱地所株式会社は、仙台市内に所有する施設（RE100^{*1}対象物件（一部、当社持分のみ））で使用する電力を、再生可能エネルギー由来（以下、「再エネ電力」）の電力に切り替えます。切り替え対象物件の電力使用量（2021年度実績）は約23,987MWh（一般家庭換算で約5,600世帯分^{**2}）であり、再エネ電力への切り替えによるCO₂削減量は年間約12,000トンに相当します。

今回導入する再エネ電力は、東北電力株式会社が調達する「RE100」対応の電力としており、共用部含め下記の建物^{**3}で使用される電力の全量を再エネ電力とする建物は、オフィスや商業等の用途を問わず、対象物件の入居企業・テナントが自社で再エネ電力を利用していることが認められます。

三菱地所グループでは、長期経営計画2030とあわせて策定した「三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030」において、重要テーマの一つとして「Environment：気候変動や環境課題に積極的に取り組む持続可能なまちづくり」を掲げています。また、具体的なKPIとしてCO₂削減目標（2019年度比で2030年までに70%削減（スコープ1,2）、2050年までにネットゼロ達成（スコープ1,2,3 共 / SBTi^{**4}認定取得済））や、再エネ電力比率目標（2025年度までに100%達成を目指す（2020年1月、RE100加盟済））等を策定しており、本件取り組みはこれらの目標達成に寄与する取り組みです。

尚、三菱地所グループでは、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）の所有物件を中心に再エネ電力の導入を進めており、再エネ電力比率については、2022年度中の切り替えにより50%程度まで達する見込みとなっております。



▲花京院スクエア



▲定禅寺パークビル



▲泉パークタウン タピオ

切替日：2022年12月1日より順次切り替え（2023年2月1日迄に全施設切替完了予定）

対象物件：花京院スクエア、仙台パークビル※5、読売仙台一番町ビル※5、定禅寺パークビル、kurax、泉パークタウン タピオ、泉パークタウンゴルフ倶楽部※6、桂ガーデンプラザ、ショッピングガーデン・キャラウェイ、高森ショッピングプラザ、寺岡ショッピングプラザ、寺岡 Knots、紫山プラザ、仙台ロイヤルパークホテル

切替方法：東北電力株式会社が提供する、再生可能エネルギー発電所で発電された電気と、再生可能エネルギー由来の非 FIT 非化石証書を組み合わせて、電気の CO₂ 排出量をゼロにする電気料金メニューへの加入等。

CO₂削減量：年間約 12,000 トン（想定）

※1 企業が事業で使用する電気を 100%再生可能エネルギーとすることにコミットする協働イニシアチブ。企業が結集することで、政策立案者および投資家に対して、需要家からエネルギー移行を加速させるためのシグナルを送ることを意図する。日本では、「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」が RE100 の公式地域パートナーとして、日本企業の参加と活動を支援する。（詳細：<https://www.there100.org/>）

※2 4,258kWh/年・世帯にて換算（環境省実施の「令和2年度 家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査（確報値）」より抜粋）

※3 仙台泉プレミアム・アウトレットは 2022 年 6 月より施設共用部での使用電力を 100%再エネ電力とする運用を開始。

※4 企業に対して、パリ協定が求める水準（気候変動による世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて、2°Cより十分に低く抑えるとともに、1.5°Cに抑えることを目指す）と整合した、科学的知見に基づく温室効果ガス排出削減目標（=SBT：Science Based Target）を設定するよう求める環境イニシアチブ。

※5 当社持分相当のみ再エネ電力への切り替えを実施。

※6 当社が購入したトラッキング付非化石証書を充当予定。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲今回の取り組みに関連する SDGs

【参考】東北地方における三菱地所グループの取り組み

三菱地所グループは、仙台市において、市内北部の泉パークタウン及び都心部を中心に、約50年にわたりお住まいの皆様や仙台市とともにまちづくりを進めています。

泉パークタウンは、三菱地所が1974年のまちびらきから現在まで分譲を継続している約1万世帯が居住する総開発面積約1,074haの大規模開発です。「人と自然の調和した快適な住環境」をテーマとして「住む」「働く」「憩う」「学ぶ・集う・楽しむ」といった多彩な生活機能を備えるべく、ホテル・商業施設・事業所・スポーツ施設等を配した複合型のまちづくりを進めており、現在、最後の街区となる第6住区のうち、東工区が「朝日」（一戸建用宅地：721区画）として2022年に造成が竣工しました。

2019年5月には、泉パークタウンを対象地として国土交通省スマートシティモデル事業の「重点事業化促進プロジェクト」に選定され、「朝日」を中心に、既存街区も含めた郊外型住宅団地の社会課題解決に向け、先進的技術の導入やタウンマネジメントの仕組み構築に向けた各種検討・実証実験を進めています。

一方、都心部においても定禅寺パークビル・仙台パークビル・花京院スクエア等のオフィスビル、kurax等の商業施設の開発・運営管理のほか、仙台市のみならず東北地方の様々なエリアでも設計監理業務を請け負うなど、多岐にわたる事業を進めてまいりました。

また、事業予定者として選定された仙台市泉区役所建替事業や、仙台市宮城野区扇町で計画している物流施設「ロジクロス」開発事業等、新たなプロジェクトも始動しており、私たち三菱地所グループは、今後とも多様な用途の開発に積極的に取り組み、住み・働き・集い・憩う方々に満足して頂ける地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献します。

「泉パークタウン」ホームページ タウンプロフィール

<https://www.izumi-parktown.com/concept.html>

「朝日」ホームページ

<https://ipt-asahi.com/>



▲泉パークタウン全景（手前は新街区「朝日」）

以 上